

題字 滄濱名一雄

＜定価 1部 100円＞

編集委員会事務局長

川
边
柳

第一回山田昇記念杯

登山競争大会報告

大会総務部長 女 屋 等 志

九月三十日は台風二十号の接近のため、朝から降雨であった。それでも受付開始の六時から、参加者が続々と集まってきた。理事長の決行の判断で各役員は、それぞれに部署に配置した。山田昇杯は百五十三人(参加申込数七百一十一人、当日参加一人、欠席者十九人)三枝賞には五十人(参加申込数五十九人、欠席者九人)、一般参加者は百一十二人(参加申込数六百六十九人、当日参加九人、欠席者五十六人)総勢三百三十五人となった。七時から傘をさしての開会式が挙行され、競争大会は開始された。

九月三十日は台風二十号の接近のため、朝から降雨であった。それでも受付開始の六時から、参加者が続々と集まってきた。理事長の決行の判断で各役員は、それぞれに部署に配置した。山田昇杯は百五十三人(参加申込数七百一十一人、当日参加一人、欠席者十九人)三枝賞には五十人(参加申込数五十九人、欠席者九人)、一般参加者は百一十二人(参加申込数六百六十九人、当日参加九人、欠席者五十六人)総勢三百三十五人となった。七時から傘をさしての開会式が挙行され、競争大会は開始された。

豊さん(洪川高校山岳部)で、茂木さんは二時間五十六分二十六秒でゴールした。選手が続々とゴールする中、本部の電話が鳴った。片品村花咲の武尊牧場駐車場休憩所から、競技に参加していた選手が一人、こちらに下山したということであった。さっそく輸送部に連絡し、迎えにいくことになった。矢先再び電話があり、また一人下りてきたという。結局牧場へ三人が下りてしまった。今度は西峰から無線で、パテて動けなくなった選手がいるため、本部から応援を頼む内容であった。一般参加の役員がこれに対処すべく向かう。競技部は、通過チェックを確認するため、無線を流した。前武と沖武の通過人数に一人食い違いがあり、競技部もあわてた。もう一人牧場へ下りたのではないかと、ところが西峰からは、前武通過者から牧場へ下りた三人を除いた人数と一致し、胸をなで下ろしていた。

後二時三十分、三枝照雄賞の部が午後二時四十分設定された。結局山田昇杯の部に百一十八人、三枝照雄賞の部に四十五人が完走した。時間内にゴールした選手は、後日完走証を送付する。規定重量不足で十分のペナルティを受けた選手が一人いた。雨は開会式の時よりも激しく降る。午後三時十五分から閉会式を挙行した。閉会式のメイン・イベントは表彰である。入賞者にカップと賞状が授与され、大きな拍手が沸き起こる。これをもって大会は終りとなるはずであるが、西峰で動けなくなった選手が未だ到着し

武尊自然休養林駐車場を、星野会長のビートルの合図に、山田杯の部が八時半にスタートし、十分遅れて三枝賞の部がスタートした。第一位でゴールしたのは山梨県から参加した千野香選手で、今年福岡県で開催される「とびうお国体山岳競技」の山梨県代表の選手で、国体備えてのトレーニングの一貫として参加した。後で知ったことですが、富士登山競争に優勝した経験もあり、二時間十八分三十二秒という予想を超えたタイムであった。第二位の武田真二さんは、栃木県山岳連盟からのエントリー



左から2位武田真二さん、優勝の千野香さん、3位の山田豊さん

ゴルルの川場キャンプ場では、岳連役員と理事長の奥さんやその知人などが、前日から豚汁、味噌、おでんや鱈の塩焼きなどの仕込をおこない、ゴールした選手達を接した。また、山田家からは豊さんら四人も応援に駆けつけ、りんごや焼肉の差し入れをおこした。全身ズボ濡れの選手達には、大変好評であった。

競技打ち切り時間が近づくと、まだゴールしない選手が多数いる。スタートしてから六時間が打ち切り時間である。山田昇杯の部が午

た。役員編成の段階から、当日出席できるか確認をとる必要がある。また、やむを得ない時には、必ず引継をしておく。通信部では、前武尊と本部の無線交信がでなかった。アマチュア無線の導入を検討する。医療救護部では、トランプル発生に備えて五人増員する必要がある。輸送設備部では、輸送と設備は部を二つに分離させる必要がある。総務部ではマスコミに対応する係の設置などが挙げられた。また競技コースを、川場キャンプ場をスタート・ゴールとするルートの検討。参加者の受付人数として、競争を最大三百人にする。一般参加は、登山するには選手に邪魔にならない数として百五十人が限度。さらにキャンプ場を中心とした遊びを考えるなどが挙げられた。

後二時三十分、三枝照雄賞の部が午後二時四十分設定された。結局山田昇杯の部に百一十八人、三枝照雄賞の部に四十五人が完走した。時間内にゴールした選手は、後日完走証を送付する。規定重量不足で十分のペナルティを受けた選手が一人いた。

雨は開会式の時よりも激しく降る。午後三時十五分から閉会式を挙行した。閉会式のメイン・イベントは表彰である。入賞者にカップと賞状が授与され、大きな拍手が沸き起こる。これをもって大会は終りとなるはずであるが、西峰で動けなくなった選手が未だ到着し

大会の反省会を十月十七日に行った。その中からいくつかの反省点をあげてみると、競技部では、中之岳の分岐に標識を設置しなかったこと。このため武尊牧場に三人が下りてしまった。準備していた役員が当日都合が悪くて欠席し、代理となった者に引継をしいない事で運営上のミスを引き起こし



選手宣誓 大山選手(境町山の会)





ゴ ー ル



ス タ ー ト

第 1 回山田昇記念杯登山競争大会成績表

○山田昇記念杯の部 1 位～30位 平成 2 年 9 月 30 日(日)

順 位	番号	所 要 時 間	氏 名	年 齢	住 所
第 1 位	137	2 時間 18 分 32 秒	千 野 香	38	山梨県甲府市小松町 494
第 2 位	49	2 時間 22 分 52 秒	武 田 真 二	30	栃木県河内郡上三川町蒲生 2500
第 3 位	4	2 時間 23 分 12 秒	山 田 豊	43	群馬県沼田市屋形原町 2306-1
第 4 位	99	2 時間 24 分 22 秒	大 塚 直 人	19	栃木県宇都宮市上箒ノ谷町 1745
第 5 位	42	2 時間 25 分 10 秒	田 崎 幸 治	33	栃木県河内郡上三川町字上三川 3360-1
第 6 位	46	2 時間 27 分 40 秒	林 祐 寿	21	栃木県真岡市東大島 1167
第 7 位	138	2 時間 29 分 00 秒	舟久保 元 孝	35	山梨県富士吉田市小明見 4004
第 8 位	48	2 時間 31 分 51 秒	荒 井 理	19	栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田 2512-3
第 9 位	5	2 時間 35 分 12 秒	石 川 隆 志	22	栃木県真岡市下籠谷 261-3
第 10 位	140	2 時間 35 分 19 秒	辻 敏 夫	28	山梨県山梨市上神内川 976
第 11 位	128	2 時間 37 分 55 秒	大 山 洋 次	32	群馬県新田郡藪塚本町大原 34
第 12 位	139	2 時間 38 分 15 秒	舩 木 万 一	36	山梨県北都留郡上野原町西原 2012
第 13 位	2	2 時間 42 分 32 秒	下 嶋 浩	45	東京都世田谷区深沢 5-31-1
第 14 位	7	2 時間 52 分 05 秒	星 野 龍 史	22	群馬県勢多郡黒保根村下田沢 608
第 15 位	15	2 時間 52 分 10 秒	岩 村 正 通	21	東京都青梅市東青梅 5-2-1 ニューハオネ河辺 206
第 16 位	146	2 時間 52 分 44 秒	佐 伯 和 男	38	東京都多摩市関戸 1-3-8
第 17 位	14	2 時間 57 分 30 秒	野 口 洋 司	34	群馬県富岡市上黒岩 1580-1
第 18 位	30	2 時間 58 分 21 秒	菅 野 勉	26	栃木県那須郡西那須野町千本松 296-37
第 19 位	167	2 時間 59 分 34 秒	赤 松 久 宇	27	群馬県太田市東本町 57-21
第 20 位	142	3 時間 01 分 10 秒	後 藤 信 雄	39	群馬県沼田市高橋場町 1881-16
第 21 位	77	3 時間 01 分 36 秒	高 田 登 司	25	神奈川県相模原市相南 2-25-30
第 22 位	47	3 時間 03 分 26 秒	江 連 賢	19	栃木県今市市小倉 832-3
第 23 位	150	3 時間 05 分 03 秒	亀 田 佳 恵	30	東京都江戸川区平井 5-26-12
第 24 位	31	3 時間 05 分 21 秒	阿 部 正 巳	38	群馬県利根郡水上町湯原 937
第 25 位	148	3 時間 07 分 07 秒	白 沢 真 弓	31	東京都品川区平塚 2-17-3-101
第 26 位	6	3 時間 07 分 41 秒	小 西 浩 文	28	東京都小平市花小金井町 3-29-21
第 27 位	26	3 時間 11 分 29 秒	倉 嶋 清 次	42	東京都杉並区和田 3-53-18-301
第 28 位	96	3 時間 12 分 32 秒	坂 田 優 人	55	神奈川県秦野市堀山下 516-6
第 29 位	129	3 時間 17 分 07 秒	星 野 久 夫	33	群馬県新田郡藪塚本町大原 1213-23
第 30 位	163	3 時間 17 分 55 秒	川 田 尚 史	24	群馬県太田市茂木 2165

第1回山田昇記念杯登山競争大会成績

○三枝照雄賞の部 1位～20位 平成2年9月30日(日)

順位	番号	所要時間	氏名	年齢	住 所
第1位	189	2時間56分26秒	茂木 雅 樹	17	群馬県吾妻郡長野原町林893
第2位	215	3時間03分00秒	今井 進	16	群馬県勢多郡北橘村小室577-2
第3位	227	3時間10分36秒	山本 豊	16	群馬県吾妻郡長野原町大字羽根尾503
第4位	202	3時間15分39秒	藤本 祐 毅	16	群馬県渋川市金井3028-16
第5位	201	3時間24分56秒	小瀧 治	18	群馬県碓氷郡松井田町松井田340-1
第6位	239	3時間27分12秒	高木 哲 男	17	群馬県桐生市境野町7-1783-23
第7位	181	3時間39分06秒	田中 亮 士	17	長野県上田市築地357-4
第8位	231	3時間42分20秒	岩崎 繁 之	16	群馬県新田郡笠懸町鹿2077
第9位	222	3時間43分28秒	綿貫 剛	18	群馬県利根郡昭和村森下81-3
第10位	216	3時間43分33秒	深町 法 義	17	群馬県伊勢崎市安堀町568-2
第11位	221	3時間47分19秒	関 康 浩	17	群馬県沼田市奈良町690
第12位	203	3時間51分58秒	行田 悦 資	16	群馬県高崎市大沢町72-30
第13位	224	4時間02分28秒	田中 茂 樹	16	群馬県沼田市岡山町422
第14位	238	4時間08分44秒	角田 綾 子	17	群馬県吾妻郡中之条町四万4231-1
第15位	233	4時間13分45秒	下山 学	15	群馬県勢多郡新里村新川3985-1
第16位	218	4時間19分23秒	木村 敦	16	群馬県沼田市中発知町880
第17位	190	4時間27分20秒	山本 元 春	15	群馬県吾妻郡長野原町長野原248
第18位	196	4時間27分53秒	春田 裕 二	17	群馬県藤岡市岡之郷乙302-3
第19位	219	4時間30分53秒	河合 智 久	17	群馬県利根郡月夜野町真庭35
第20位	204	4時間32分26秒	新井 学	17	群馬県伊勢崎市大手町17-12

山田昇記念杯登山競争大会役員名簿

大会会長 星野 光
 大会副会長 中島喜代志・小林二三雄・石井謙一郎
 顧問 中曽根弘文(群馬岳連顧問)
 横坂 太一(川場村長)
 樋口 照(川場村教育長)
 西田 治司(沼田市長)
 佐藤 國利(沼田市教育長)
 篠原 宏(沼田営林署長)
 竹井 恒雄(利根沼田広域消防本部消防長)
 田中 成幸
 太田 忠行・樋口 宗平
 女屋 等志
 川辺柳一・宮崎勉・森田幸太郎・寺内正明
 堀江登志夫・北村登男・水野金太郎・坂口
 喜久・山口英男・森田富美雄・富山真・名
 塚好子・八木原園明・田島忠夫・阿部源・
 松永幸雄・関剛芳・石川忍・鹿田雄三・須
 田栄一・長谷川勇・高橋征三・岡安茂能・
 佐藤緑・千明揚子・角田政子・小幡美智代
 小林美和子・森浩恵・南恵子・笠原伊勢雄
 真下富夫・竹沢正道・中沢安信・羽野順一
 西山年秋・加藤藤夫・田中壮信・阿久沢憲
 太郎・信沢英治・寺田孝子・後藤通子・藤
 巻百合子・熊谷利江・田中其子・関公子・
 細井郁枝・藤原日出美・小山明子

競技部長 高田 政美
 審判長 松田 龍彦
 競技部 竹山繁男・大沢清・千明政彦・土屋邦夫・
 壁伸明・清水人志・阿久沢芳雄・神戸誠・
 渡辺千賀子・鈴木ちさと・寺崎保・白石侑
 三・小保方祥雄・吉井広始・高橋敏之・角
 田二三男・萩原明・青木直人・須永武・武
 田芳政・名塚秀二・小此木次雄・桜井進・
 阿久津幸宏・大橋良雄・吉田直人・篠原敏
 雄・中原正喜・佐藤光由・石川潔
 新井 邦光
 医療救護通信部長 茂木稔・清水裕千・藤井正之・柳沢章・小
 沢勝・新井祐治・木村正巳・土屋秀一・須
 藤啓二・月岡武久・矢内勝己・星野通
 通信部 町田幸男・柳原重之・福田純一・佐藤清治
 金井正樹・荒川明・石川弘・桶田成男
 輸送設営部長 小暮 文彦
 輸送設営部 金子一実・小野正純・星野芳寿・宇田川邦
 司・牛久保拓・阿部健二・武田照夫・仁科
 雅司・内藤保・福島三夫・御園武・小泉俊
 夫・湯沢好夫・都丸和芳・木檜公明・木内
 健一郎

技術と信用で地域社会に貢献する

総 合 建 設 業



萬 屋 建 設 株 式 会 社

取締役会長 星 野 光

本 社 群馬県沼田市下之町880番地 TEL 0278(23)4648(代表)

支 店 東京都豊島区東池袋4-2-7 TEL 03-985-7631

県民の日記念事業

第十四回県民登山大会報告



開会式 星野会長あいさつ

平成二年十月十四日(日)に利根郡川場村、武尊山を中心にして開催した、県民の日記念・第十四回県民登山大会は前日の夜半まで雨が降っていて開催出来ないものか心配されたが、当日は快晴となり七十七名の一般参加がありました。県山岳連盟役員が二十九名参加し、合計参加人員一〇六名で行われました。

当日は朝から秋晴れで、登山には絶好のコンディションとなり、受付を午前七時に開始し、午前七時三十分には開会式を行う。星野光岳連会長のあいさつで始まり、地元川場村々長横坂太一氏の川場村へようこそと川場村の紹介も兼ねたあいさつがあり、この後群馬県山岳連盟より川場村に対し数々の支援と協力に対して感謝状が贈呈されました。次いで田中成幸大会委員長と高田登山教室リーダーよりそれぞれ説明と指導及び注意点等があり、開会式後二つのコースに分かれ、マイククロス又は自家用車でスタート地点に向けて出発する。

◎コース

Aコース
ホテルS.L.武尊高原川場キャ



川場村へ感謝状贈呈

Bコース
ホテルS.L.武尊自然休養林駐車場→花咲分岐→前武尊山→花咲分岐→武尊自然休養林駐車場→ホテルS.L. 片道3.9km。
参加者は高崎から参加された外

国人的方四名も含まれ、紅葉が色づき初めた谷川連峰、至仏山・日光白根山・遠くに利根源流の山々など県内の連山を眺望し、秋空の下落葉を踏みしめての登山となり大会の進行も予定通りスムーズに行こなわれ、無事全員が下山し、閉会式を行って大会を終了する。

(記 羽野)

海外登山 (八木原・名塚)

群馬の海外登山も久々に成果を

に上昇させたい。

得た感のある本年八月の三日間で、六月の岳連総会で「冬期副委員長が参加した横浜山サガルマータ(エベレスト)南西

岳協会のチョゴリ(K2、八六一m)北西壁初登攀(七六五〇m)「壁」登山計画を推進することになり、この成果を利用して勢いをさら

から既登の北壁」である。星野会長の尽力でスポンサーが決定しつつありますので、登山許可のメドがつけば正式発表が出来る段階となっております。

予算はこれまでの群馬のヒマラ

朗報が続いたが、群馬岳連隊として一九九一年の冬期サガルマータ南西壁登山の実施が九月の岳連理事会で発表し、承認された。

現在タウラギリ峰(八二六七m)へ女子登攀クラブ隊として木村文江(桐生)がガッシアルムII峰に次ぐ八〇〇〇m峰二座目の登頂を目指している。キリマンジャロに登れなかった高橋あいもBCまで同行する予定。

雪崩事故もあったが八月九日に名塚、今村裕隆の二名が登頂した。名塚はサガルマータに次ぎ、世界の一位、二位の高峰に登頂した。日本ヒマラヤ協会のサトバント(七七五m)隊の後藤文明(境町)らは十日に登頂。この隊は九名が登頂したが、五〇歳の男女三名を含む。現在の登山界の中年化を象徴している。

後藤はブモリに次ぎ七〇〇〇m峰一座登頂者となった。桐生山岳会は会創立四〇周年記念登山でキリマンジャロに十一日に登頂した。真の頂上ワフルビーク(五八九五m)には会長の樋口宗平、優子夫妻と星野龍史(ミヤマ)が登頂し、手前のギルマンズポイント(五六八五m)には小又堅志郎総隊長と吉田君子が登頂。会としては三〇周年のマツキンリ登頂に次ぎ二度目である。

美と健康のお手伝い

ブリジストン自転車
ナショナル自転車
ホンダのオートバイ
サイクルショッポ.

一流メーカーは安心です
ヤギハラ

前橋市下細井町139-3
TEL 0272-31-1308

有限会社 山とスキーの店
石井

伊勢崎市中央町18-8



念式典と同時に長年にわたるスリした結果、「受賞され、本当います。又、記変素晴らしい」「史、岳人」も発と伝統の重みをのでありました。式典後は懇談長のあいさつと之助氏のスピーの代表者からり、和やかで盛行なわれました

今年度で岳連発足五十周年となるため、何か特別な事業を行ったとかという意見が理事会の席上で出され、八木原事が中心となり、検討がはじめられた。事業の内容としては次のような意見が提出された。

- 一、五十周年記念誌の発行
- 二、式典と祝賀会
- 三、記念県民登山大会
- 四、トレッキング
- 五、その他

以上のような事業の中で特に大きなものはやはり岳連が五十年間歩んで来た現在までの歴史を一つ

編集部からのお願い
山行記録をお知らせ下さい

の会員の皆さんの山行記録を岳連機関紙「嶺呂」に掲載して県内はもとより他県の人達に対しても、知らせて行こうという考えから、

出来れば次号の「嶺呂」四十二号から「山行記録コーナー」を作つて行く予定にしています。

「嶺呂」編集部 羽野順一

木村文江さんを含めた日本女子登攀クラブ隊は八月下旬日本を出発、三十一日ポカラよりキヤラバンを開始して九月十四日にマヤンディ氷河の四七〇〇mにベースキャンプを設営し、十八日から登頂を目指して行動を開始して、十月

―スだと思ひます。特に若い登山愛好者の女性会員にとっては今後素晴らしい目標となる先輩ではないだろうか。手の指に凍傷を受けたようですが、早く元氣になつて益々の活躍を祈ります。

(H記)

山行記録内容については特に決められた規定はありません。例えば会山行記録でも、個人山行記録でも、岳連会員外の人達との同行でもいっこうにかまいません。山行地も国内、海外、ハイキング的な山から高度な山行までいづれも



記念事業計画について

今年度で岳連発足五十周年となるため、何か特別な事業を行つたらどうかという意見が理事会の席上で出され、八木原理事が中心となり、検討がはじめられた。

事業の内容としては次のような意見が提出された。

に集結すべく発行する『記念誌』を出版することと思う。十一月二十七日に第一回の岳連創立五十周年特別事業実行委員会を発足させるべく準備会を行う予定で、岳連加盟の各山岳会会員の皆様にはいづれ何かの形で必ず御協力

- 三、所属山岳会名。
- 四、メンバー氏名。
- 五、登山内容（八〇〇字程度）。
- 六、ルート図、写真。

以上の要領をまとめて「領呂」編集部に送って下さい。

『岳人記録速報』のように掲載

○海外登山部報告—八木原
九十二年—九十二年のサガルマ
ータ南西壁の準備を始めました。
またブレ・サガルマータというこ
とで来春のH A JとI T B P（イ
ンド、チベット国境警備隊）の合

をあおぎ、邑連全体でこの事業に
あたり、何とか来年の七月頃まで
に記念誌発行と式典を行う予定に
しておりますので今後皆様の御支
援協力をお願いしたいと思いま
す。具体的な計画が決定したい、
お知らせして行く予定です。

いただき、今後の山行の手助け、又は情報交換の資料となることを、主な目的としたものになく考へておりますので、どんな記録でも、どしどしお知らせ下さい。

尚、記録は郵送でも、各山岳会理事の方へお願いして持って来てい

群馬から名塚秀一、佐藤光由、小西浩文、江塚進介、後藤文明、星野龍史、秋山剛、木村文江の八名が参加し、トレーニングを始める予定です。今年の冬に偵察を考えています。いづれにせよ南西壁前のトレーニングのカンチェンです。

理事会報告

○海外登山部報告——八上

九十二年、九十二年のサガルマ
タ南西壁の準備を始めました。

またブレ・サガルマータというこ
とで来春のH A JとI T B P（イ

ンド、チベット国境警備隊）の合
同で行うカンチェンジュンガに、

群馬から名塚秀二、佐藤光由、小
国浩文、江塚進介、後藤文明、星

野龍史、秋山剛、木村文江の八名が参加し、トレーニングを始める。

今年の冬に偵察を考えています。

レーニングのカンチェンです。